

平成21年度学校経営計画表

1 学校の現状

学校番号	109	学校名	茨城県立猿島高等学校				課程	全日制			学校長名	小島 淳				
教頭名	外ノ岡 政典									事務(室)長名	木戸 浩明					
教職員数	教諭	24	養護教諭	1	常勤講師	7	非常勤講師	7	実習教諭・実習講師・実習助手	5	事務職員	3	技術職員等	6	計	53
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科			4	13	6	4	-	-	10	17	2				
	園芸科			5	15	5	7	-	-	10	22	2				
	緑地土木科			13	0	13	0	-	-	26	0	2				
総合学科	70	42							70	42	3					

2 目指す学校像

- (1) 一人一人の生徒を大切にし、きめの細かい指導を行う学校。
(2) 一人一人の個性を伸ばし、自己実現を図る学校。
(3) 地域に開かれ、社会に貢献する学校。
(4) よりよい自然環境、生活環境に配慮する学校。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
教科指導	学力の低い生徒が多い。学力のばらつきが大きい(学検点の差が大きい)。授業に対する集中力が低い。学習意欲の低い生徒が多い。実技への興味関心が強い。	TT授業や習熟度別学習の充実。授業参観などの内部研修を充実し、分かる授業の工夫を図る。選択科目教科を充実し、生徒の興味関心を引き出す。
生徒指導	基本的な生活習慣(服装・頭髪・遅刻)の乱れが見られる。交通事故が減少した。小さな問題行動(喫煙等)が減少した。強い心の悩みを持つ生徒が多い。	公衆道徳やマナー教育の充実。交通安全教育の充実。生徒の非行防止教育の徹底。スクールカウンセラーの常駐を目指す。

進路指導	昨年度は、進路決定 100 %を達成したが、ここ数年来、自分の身につけた知識・技能を将来に生かす意欲が欠如し、自己向上の取り組みへの関心が薄い生徒が多い。	不況下の就職口の確保と内定率の維持に努める。家庭との緊密な連携を図り、生徒の将来設計に基づく、進学実現を達成する。
特別活動	部活動の参加生徒数が少ない。高体連関係大会の成績が上がらない。能力的にリーダー的存在の生徒が育たない。	部活動の数量的充実。 ホームルーム活動の充実強化。

4 中期的目標

魅力に満ちた校風で、入学希望者が増える学校となり、地域に信頼され、地域に貢献できる学校づくりを目指す。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の向上を図る。	生徒一人ひとりの能力に応じた分かりやすい授業の創意工夫により、各教科・科目の興味・関心を高めるように努める。 T T 授業や習熟度別授業の充実を図る。
基本的な生活習慣の確立を図る。	規律ある学校生活を送るため、ホームルーム活動や学年集会、学校行事等を通して、正しい判断による自己表現力と豊かな人間関係の醸成を図る。
教育相談の充実を図る。	心の健康を大切にし、生徒の心の悩みを解決するため、教育相談の充実を図る。
特別活動の活性化を図る。	部活動に意欲的に参加し、活動が継続できるように顧問教師と部員及び部員相互の望ましい人間関係の醸成に努め、部活動の活性化を図る。 H R 活動・生徒会活動・学校行事の活性化を図る。
進路指導の充実を図る。	人間としての在り方生き方を学び、進路意識を高める。 農業実習、建設現場等でのインターンシップを通し、望ましい職業観 や労働観を養成し、生徒の進路意識の高揚を図る。
特色ある施設・設備を生かした地域との連携交流の推進を図る。	農業関連学科特有の施設・設備を最大限に生かして、食の安全安心等に関わる特色ある開放講座や体験講座を開設し、地域との連携・交流に努め、地域貢献を図るとともに、地域からの信頼を確保する。

平成 18 ~ 20 年度の学校経営計画表については、URL (http://www.sashima-h.ed.jp/h_gakkoukeieikeikaku.pdf) の 部分の 数字を変えてご覧下さい。